江津東小学校・江東中学校説明会（R8.9.18　19:00～）

参加者36人：保護者25人（うち未就学児保護者５人）、小学生２人、その他９人

	ご質問・ご質問	回　答
1	統合後の児童・生徒の送迎について、スクールバスの確保等は進んでいるのか。また、現在、江津中へバス通学している生徒と同程度に利用しやすい乗降場所を確保してほしい。	基本計画が確定したら直ちに統合準備委員会と部会を立ち上げ、通学部会でバスのコース、停留場所の数や位置を協議します。停留所を増やすと所要時間も長くなるため、要望を踏まえて最善策を検討します。
2	スクールバス等について、改めて要望や意見を伝えられる機会はあるのか。委員会・部会のメンバー以外の意見も吸い上げてほしい。	今後も説明会等を実施する予定で、委員会・部会のメンバー以外からも意見を伺えるようにしたいと思います。
3	制服・体操服について、令和９年度に江東中へ入学する場合も江東中の制服に限定せず、江津中の制服を含めて子どもが選べるようにしてほしい。江東中の制服を指定する場合は、翌年度の江津中入学時に補助をしてほしい。注文時期が早いため、早めに方針を示してほしい。	要望として受け止め、今後、統合準備委員会や学校間で協議します。制服・体操服の注文時期も踏まえ、早めに検討を進めます。
4	部活動等で帰宅が遅くなると通学路が暗く危険である。街灯が少ないため整備してほしい。	街灯は教育委員会単独では対応できないため、市長部局とも協議し、安全・安心な通学路となるよう取り組みます。
5	統合を見据え、制服に学校名を固定して入れるのではなく、校章だけにする、または私服・自由服とすることも検討できないか。	制服の有無、校章やデザインは学校や教育委員会が一方的に決めるものではなく、ＰＴＡと学校が協議して決定されます。
6	基本的な考え方に「当事者である保護者・児童生徒の意向を最優先に検討する」とあるが、２月のアンケートが全てのように扱われ、保護者が十分に知らないまま新聞報道が先行して地域が混乱した。計画案が具体化しており、結論ありきではないか。本日の意見はどの段階で、どのように計画へ反映されるのか。	２月に実施したアンケートが保護者や児童・生徒、教職員の意見であるという前提で、教育員会事務局で議論を進めてきました。また、アンケートだけに頼るのではなく、基本方針策定時のパブリックコメントや市内６か所での説明会も実施しました。現在は事務局案であり、検討委員会へ諮問し、来月後半に答申を受ける予定です。本日の意見も検討委員会に報告・共有し、答申に活かしてもらいます。新聞報道により決定事項のように受け止められたことは本意ではなく、基本計画はまだ案であり決定事項ではありません。
7	令和10年４月の統合案は、現在の小学６年生や在校生にとって準備期間が短く、不安が大きい。説明や検討が急すぎるのではないか。	令和11年・12年に延期しても、同様の不安を抱く子どもは生じます。これまでの状況を踏まえると、可能であれば令和10年４月の統合がよいのではないかと考えています。
8	現在の中学生や、江東中への進学を考えていた小学生の中には、途中から大規模校へ移る子どもが出る。疎外感を抱かないよう、事前交流、合同行事、ワークショップ等の具体的な配慮を基本計画に位置付け、学校任せにせず教育委員会も取り組んでほしい。	統廃合で最も影響を受けるのは子どもたちです。計画が決まり次第、学校間や統合準備委員会で協議し、合同の学校・学年行事、ワークショップ、グループエンカウンター等を実施して、円滑に統合を迎えられるようにしたいと考えています。検討委員会からも心のケアや事前準備を求める意見があり、答申へ組み込まれるものと思います。教育委員会も学校任せにせず支援します。
9	令和10年の統合では、現在の小学生が入学時点で統合を見据えた学校選択を迫られる。２月初旬の入学説明会までに進学先を決める必要があり、もう少し猶予がほしい。	基本計画は12月中の確定を目指していますが、まとまらない場合は令和11年４月になる可能性もあります。令和９年度も江東中は存続するため、統合を前提にせず、基本的には指定校へ進学していただきたいと考えています。指定校変更制度は統合まで継続します。
10	令和10年４月にこだわる理由が分からない。１年先送りできないか。当事者となる学年・児童生徒への配慮を十分にしてほしい。	令和10年に固執しているわけではありませんが、江津東小卒業生は部活動を理由に指定校変更する割合が高く、現在の江東中は全校18名で、同学年の江津東小卒業生は20名を超える状況です。こうした実態を踏まえ、最速案として令和10年４月を示しました。令和11年・12年も選択肢ではありますが、最近の事情を踏まえ、この案としています。
11	令和10年４月の実施は可能なのか。	最大限努力すれば可能と考えています。
12	スクールバスの購入・維持、制服、受入校側の準備等を、統合準備委員会の発足後1年程度でまとめるのは厳しいのではないか。「急げばできる」という状態ではなく、保護者・児童生徒・地域の負担を減らすため、ゆとりある準備期間を設けてほしい。過去の統廃合でも１・２年で決まった例はほとんどないのではないか。	―

	ご質問・ご質問	回　答
13	結論ありきで動いているのであれば、地域コミュニティ・防災面の話が進んでいるのかもお聞きしたい。	教育委員会だけで進めているのではなく、市長部局と庁内検討委員会を設け、これまで５回協議しています。財政面や学校体育館等が避難所となる防災面も含め、各課と検討しています。現時点では、市長部局も令和10年４月という教育委員会案を理解していただいています。
14	令和10年４月に統合するとした場合、最終決定はいつ、誰が行うのか。	基本計画については、市長が主宰する総合教育会議で協議し、最終的に12月の教育委員会定例会で決定します。
15		令和10年４月にこだわっているのではなく、現在の江東中学校1年生が３名で、1人欠席すれば２名、２人欠席すれば１名となる状況に対し、望ましい中学校教育の環境を提供できていないことを申し訳なく感じている。思春期に多様な同世代と意見を交わし学び合える環境を整えたい。統廃合は避けて通れず、中学生にとって１年１年が重要であるため、待ったなしと考えている。一方、早すぎるという意見も理解している。
16	部活動を理由に指定校変更をしても、実際にはその部活動に入っていない子どももいる。部活動以外の理由でも、希望する中学校への指定校変更は認められるのか。	指定校変更の条件は教育委員会ホームページで公開しています。中学校進学時は部活動が最も多いですが、人間関係・交友関係や、不登校・不登校傾向を避けるための変更も一定数あります。小学校では、共働き等の家庭事情により祖父母宅のある校区へ変更する例もあります。申請ごとに教育委員会定例会で協議して決定しています。
17	江東中１年生３名を「かわいそう」と捉え、人数が少ないことを理由に統合を急ぐのは違うのではないか。３名は指定校変更をせず江東中に進学しており、少人数でも生徒会活動等で多くの経験をし、成長している。人数が少ないからできないのではなく、少人数だからこそ経験できることもある。本人が望むなら、１人でも江東中を卒業できるようにすべきではないか。	３名がかわいそうという意味ではなく、３名になった状況について教育委員会として申し訳なく思っています。指定校への入学であり、江東中を積極的に選んだかどうかは別の捉え方もあります。本来の中学校教育には、授業だけでなく給食、掃除、生徒会、学校行事等の多様な学びがあります。小規模校のメリットや活躍の機会は認識している一方、多様な意見に触れる機会が減り、小集団に馴染めない子の居場所が少なくなる面もあります。大規模・小規模のどちらか一方が良いという考えではありません。
18	教育者としての正解を述べているように感じるが、実際に江東中の３名の生徒や保護者がその学級環境を望んでいるか直接確認したのか。「保護者・児童生徒の意向を最優先に検討する」という方針が十分に実行されているのか疑問が残る。	３名の生徒やその保護者に直接意見を聞いたことはありません。３名の状況に対する発言は、教育委員会側から見た考えであり、当事者に確認したものではありません。
19	アンケートなど多数の意見だけでなく、統合で特に不安を抱える少人数側の子ども・保護者には、別途ヒアリングが必要ではないか。多数決で決まると「保護者・児童生徒の意向を最優先に検討する」という方針が十分に実現できないのではないか。	３名の生徒・保護者に個別ヒアリングをすると、その意見が統合時期を１年遅らせる、２年遅らせる、または早める判断に反映され、３名に責任を負わせることになるため、あえて直接は聞いていません。
20	（保護者外） 少人数・大人数にはそれぞれ良さと課題がある。少人数でいきいきしている子どもでも、高校等で大人数を経験した際に、大人数の方が良かったと感じる可能性もある。同じメンバーで長く過ごすことをつまらないと感じる子どももおり、多くの人や意見に触れる経験も重要である。一方で大規模校にはいじめ等の課題もあり、親だけでは分からない子どもの意見を踏まえて柔軟に議論すべきである。	―